

新興・再興感染症研究事業

(背景) 近年、新たにその存在が発見された感染症や既に制圧したかにみえながら再び猛威をふるいつつある感染症が世界的に注目されている。これらの感染症は、その病原体、感染経路、感染力等が不明のため、日本国内で患者が報告された場合にパニックを引き起こす可能性もあるため、これらの感染症についての研究を推進し、国内及び諸外国の感染症対策に役立てることが緊急の課題となっている。また、新興感染症の多くは海外で発生しており、速やかに現地へ赴き、リアルタイムでの調査・情報収集を行うことが重要である。

課題

- ・新興再興感染症の実態把握・病原体の解明・診断法及び治療法の開発等が必要
- ・新興感染症に迅速に対応するための疾患横断的な研究基盤の確立が必要
- ・国際的な感染症危機に対応するため、危機管理体制の強化が必要

具体的な研究課題

新興・再興感染症に対する診断法・治療法等の開発

- ・新興感染症に関する研究
- ・国内発生例が報告された再興感染症等に関する研究
- ・海外において拡大のおそれのある感染症に関する研究
- ・ハンセン病に関する研究
- ・寄生虫に関する研究
- ・動物由来感染症に関する研究

感染症対策のための基盤整備

- ・新世紀社会対応型基盤整備研究
- ・感染症新予防・診断技術開発に関する基盤研究
- ・感染症対策の効果的な実施のための分析疫学研究

感染症危機管理体制の強化

- ・国際感染症対策の推進に関する研究
- ・リスクコミュニケーション研究

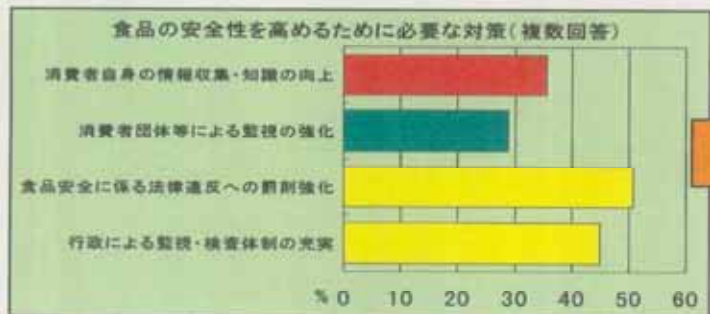
国際協同研究の推進

- ・海外で発生した新興感染症等に関する実地調査研究

安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進

感染症等健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療を確保

食品の安心・安全確保推進研究事業(仮称)



国民の食品への信頼確保(安心)

食品の安全性確保(安全)

食に関する科学技術研究の推進

食の安心のための研究

- わかりやすいリスクコミュニケーション体制の確立
- 危機管理体制の強化
- 食品衛生関連情報の効率かつ適正な提供方法の確立
- ゲノム科学等を活用した食の安心・安全予測システムの開発

食の安全のための研究

- 調査研究等
- プリオンの感染発症リスクの解明
 - めん羊等によるBSE汚染実態調査
 - 作用機序・関与成分によらない、健康食品の新しい有効性判定基準の策定
 - 特定保健用食品の新しい有効性評価法の開発

- 検出技術等の開発
- 血液を使用したBSEの高度検査技術の開発
 - プリオンの自動スクリーニング検査開発
 - 日本で使用禁止の動物医薬品の検査方法開発
 - 日本では禁止の放射線照射食品の検知法開発
 - 新しいアレルギー原材料の検知法開発

研究基盤の強化

若手研究者の育成、海外研究者の招聘・交流

健康
健康
安心
安心
のの
のの
推進
確保

医療現場を支える技術の研究開発（医療安全）

高まる国民の不信感

相次ぐ医療事故により国民の医療に対する信頼は大きく揺らいでおり、医療における安全性の向上と信頼の回復に努めることは喫緊の課題である。

大臣緊急アピール

平成15年12月24日

1. 「人」を軸とした施策
2. 「施設」を軸とした施策
3. 「もの（医薬品・医療機器・情報等）」を軸とした施策

期待される将来像

- ・全ての医療機関における医療安全対策の確立
- ・医療事故、安全対策等に関する国民への情報提供体制の確立
- ・医療事故発生後の対応方策の確立

